



## 「人は人によって変わる」

日向市教育委員会教育長 **今村 卓也**



子どもたちはもちろんのこと、大人も含めて「人」は「人」とかかわりながら、また、「人」に指導されながら様々なことを学び、育ち、変容し、成長していきます。指導したりかかわり合ったりする「人」によって、考え方も行動も大きく変わっていきます。子どもたちの成長には、教師はもとより、周りの大人が与える影響は本当に大きいと実感しています。

それだけに、教師も親も、地域の大人たちも、全ての日向市民が、自ら学び、自ら成長しながら、責任ある後ろ姿を子どもたちに示し、関わっていける、そんな日向市であり続けられるなら素晴らしいと感じています。

日向市は、産・官・学、及び地域が連携して子どもたちを育てていこうとする気運が強い街です。日向商工会議所も、キャリア教育支援センターを設置して積極的な取組を推進していただいております。平成29年1月には、これまでの取組が国においても評価され、全国の最優秀賞の栄に輝かれ、文部科学省・経済産業省から表彰を受けられました。

日向商工会議所の壁面には「日向の大人はみな子供たちの先生」という日向市のキャリア教育のスローガンが掲げてあります。子どもたちだけでなく、大人としての目指すべき姿をスローガンとして掲げ、意思表示できている街は、全国でも他にないと誇りに思っています。

この理念を実現するためには、まず教職員は自分の指導力に責任がもてるように自分をブラッシュアップさせ、人間性も磨かなければなりません。保護者や地域の方々も含めた日向の大人たちも、まずは自らしっかりと学び、成長していく機会をたくさん作っていかねばなりません。日向の大人が積極的に学び、成長しながら、一体感をもって子どもの教育に関わっていける、そんな日向市であり続けられるよう、日向市キャリア教育支援センターと連携を図りながら教育行政を進めていきたいと考えています。

## 「看護の心」の視点に立って

日向市看護協会 理事 **鈴木 敦子**



私は、キャリアは子供のころからずっと人生を通して形成されるものであると思います。看護職は、あらゆる場で、あらゆる年代の個人および家族等を対象に、どのような健康状態であってもその人らしい日常生活が過ごせるよう援助を、思いやり・気配りという成長過程で育まれる「看護の心」を抱きながら実践しております。キャリア教育を通しこの「看護の心」を「やりがい・生きがい・人の役に立つ事」も踏まえ「学習」「働くこと」の重要性を伝えていければと思います。

また、将来の夢を持ち実現するための水先案内人に少しでもなれればと考えます。その中で、「よのなか先生」の講話を保護者の方にも聞いてほしい事、家庭から学校へそして地域へと連携、ボランティア活動などの多様な活動を展開するために協力体制を築くことが必要ではないかと考えます。子供たちが仲間と協力して学ぶことの楽しさを感じてほしいと思います。

## 農業体験を通して

大王谷農業小学校 校長 **本山 隆太郎**



春4月、大王谷農業小学校に子ども達が入学してきます。昨年(28年)は大人生徒と合わせて26人の入学生が来てくれました。小さな手に鍬をもって自分の畑を耕し、季節の野菜を植えます。野菜達は大きくなるにつれて水や肥料をほしがります。ほったらかしにすれば雑草畑になり、育ちません。いつの間にか虫たちに葉っぱを食べられてしまいます。

台風も来ます。野菜の成長は人の都合に合わせてくれませんので、人が野菜の都合に合わせていかなければなりません。でも、きちんと世話していけば立派な野菜が育ち、収穫できます。自分で育てた野菜が我が家の食卓にのるのです。

苦勞の多い作業ですが、子ども達が自然を相手に真剣に農業に取り組む姿は将来自立した大人へと育っていく姿と重なります。周囲の大人達がいっしょに協働することで、子ども達が自らの思いを膨らませて行っているようにあります。また、自然の中での体験を通して子ども達は多くのことを感じながら、感性を磨いていってくれていると思います。

自らの手で土を耕し、汗を流し、自分の野菜を育てることが、大人への階段として意義のあることだと願っています。





日知屋小学校

大御神社「よのなか教室」



10月25日(火) 6年生 34名  
神社本殿で開かれた。よのなか先生は宮司の新名光明さん。礼儀作法の意味、大御神社や富高飛行訓練場の歴史を学ぶ総合的学習。



修学旅行で知覧特攻隊資料館を訪問した子供達。宮司さんの「知覧を見て富高訓練場の話を聞いてどう思ったか」の質問。



児童の一人が「平和を残してくれてありがとう」と答えた。

大御神社よのなか教室はこれからも続く。

環境教育「木工教室」

11月25日(金) 5年生 36名

日向市森林研究グループ連絡協議会と連携し木工教室を行った。よのなか先生は「耳川森林組合」の皆様。

学校が木製品のよさを感じる「木工教室」を実施。「日向市ひとものづくりセンター」の木工室を利用。ものづくりセンターも理解。児童は悪戦苦闘。楽しみながらモノづくりに挑戦。

今年度から日知屋小ではキャリア教育を進める中で、学校に隣接する「日向ひとものづくりセンター」との連携を図っている。

今後の計画

5・6年生を対象に職業能力開発協会の協力により「ものづくり体験」を2月7日実施予定



事務局便り

日向市キャリア教育「最優秀賞」を受賞

このたび、日向商工会議所が文部科学省・経済産業省共同による「第6回キャリア教育推進連携表彰」において全国の応募の中から「最優秀賞」を受賞しました。

産官学をあげてのキャリア教育の取組、とりわけ「よのなか先生」による「よのなか教室」の事業推進が認められたものであります。誠にありがとうございます。

1月17日、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された表彰式には三輪会頭、水永センター長が登場し、受賞お礼と事例発表を行いました。

また、同時に「よのなか教室」の実践校であります財光寺小が文部科学大臣賞を受賞しました。



財光寺中学校

当校では、「学ぶ意欲を持ち、社会変化に主体的に対応できる力を身につけ、心身共にたくましい生徒を育成する」ため、平成23年度からキャリア教育の考え方を基に、様々な取組を実施してきている。

職場体験

6月22日(水)~23日(木)  
2年生 159名

市内50箇所働くことの意義や日々の学習が将来どのように仕事に関係しているのか等の多くを学ぶことができました。



出前授業

7月8日(金) 3年生 138名

高等学校の先生、高校生が来校。特色ある授業を実施してもらいました。

進路選択を考える上で大変参考になりました。

(参加実施校)

日向高校 普通科

日向工業高校 機械・電気・建築科

富島高校 商業・国際経済科

門川高校 福祉系列、農業食品系

延岡学園 普通科(特進)・調理科

聖心ウルスラ高校 普通科(特進)・看護科



福祉・防災体験

9月16日(金) 1年生 148名

消防署員による防災に関する講話  
社会福祉協議会と防災士による

- ①新聞紙スリッパ体験
- ②ロープワーク体験
- ③キッチンペーパーマスク作り
- ④ゴミ袋カッパ体験
- ⑤担架作り

「いざという時には、まず自分の命を守る」次に、他者の命を救うということを学んだ。

避難所としての体育館の運営を考えるよい機会ともなった。



13歳のハローワーク

1月26日(木) 1学年 148名

天領うどん本店、成合へべす園、市観光振興課、宮崎日日新聞日向支局など17事業所からご参加いただき

職業講話。生徒一人、2講話受講した。

